

岡安証券 ～注目・外株銘柄～ (2024年11月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2024年10月30日現在)

<追加>

- P1【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ(PLTR)
P2【たばこ】 アルトリア・グループ(MO)

<継続>

- P3【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
P5【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
P6【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
P9【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
P10【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)
P11【医療機器】 インテュイティブ・サージカル(ISRG)
P12【半導体設計】 アーム・ホールディングスADR(ARM)
P13【半導体】 ブロードコム(AVGO)
P14【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)
P15【半導体】 ラムリサーチ(LRCX)
P16【ITサービス】 IBM(IBM)
P17【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)
P18【通信大手】 ベライゾン・コミュニケーションズ(VZ)
P19【製薬大手】 ファイザー(PFE)
P20【エネルギー】 キンダー・モルガン(KMI)

<追加>

防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
米国たばこ大手、配当による株主還元を重視

<継続>

時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
ソフトウェア世界最大手
デジタルIT機器の設計・販売大手
インターネット検索世界最大手
インターネット小売世界最大手
SNS運営世界最大手
米電気自動車(EV)大手
肥満症薬で注目される米製薬大手
外科手術ロボット「ダビンチ」を開発・製造
省エネ型の半導体設計技術を提供
企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
米半導体メモリ大手
半導体製造装置(前工程)大手
連続増配実績を持つIT業界の老舗企業
動画配信の世界最大手
米携帯電話加入件数首位の通信大手
新型コロナ・ワクチンからがん・心臓病薬まで開発する製薬大手
北米最大級の天然ガス等のパイプライン運営企業

防衛から民間大手まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

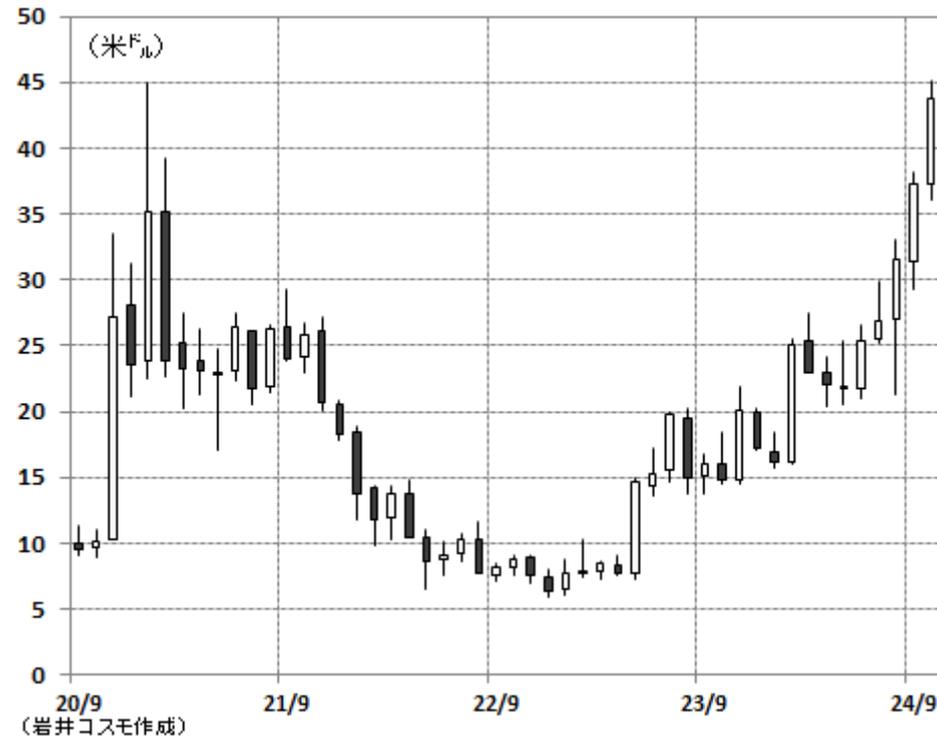
会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。23年度の政府・民間向け売上比率は55%:45%。23年末時点の顧客数は497社・団体。社名の「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことができる水晶玉に由来。2020年9月にNY市場に「直接上場」方式で上場、24年9月にS&P500指数に採用された。

注目ポイント

□ **祖業はテロ対策**：2008年に初期製品「ゴッサム」を諜報機関向けに開発、兵士を爆発物から守る目的で米防総省に採用された。またビンラディン容疑者の捜索にも貢献したとされる。その後、エネルギーや運輸、金融、ヘルスケア等の民間大手と協力。2016年に商業課題に対処する製品「ファウントリ」を投入、民間ビジネスを拡大させた。

□ **SOMPOホールディングスと連携**：日本のSOMPOホールディングスとは2019年に共同出資会社を設立、パランティアの解析サービスの国内販売を支援。介護サービス分野でのデータの活用を検討。介護ベッド等のIoT機器や服薬履歴などのデータをまとめて管理し、介護現場の負担軽減と高齢者の生活の向上につなげる考え。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	43.69 (10/30)
52週高値(日付)	45.14 (24/10/28)
52週安値(日付)	14.481 (23/11/01)
時価総額	978億ドル 15兆0.070億円
株価変化率(%)	98.9 (過去6ヶ月間) 195.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	246.4 (倍)
株価売上高比率	38.8 (倍)
PBR	24.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.5 (%)
株式ベータ	1.97 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	1,906	24	-161	赤継	-374	赤継	-0.18	0.00
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	533	—	10	—	28	—	0.01	0.00
2024/Q2	678	27	105	10倍	134	5倍	0.06	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米国たばこ大手、配当重視の株主還元、代表的な高配当利回り銘柄

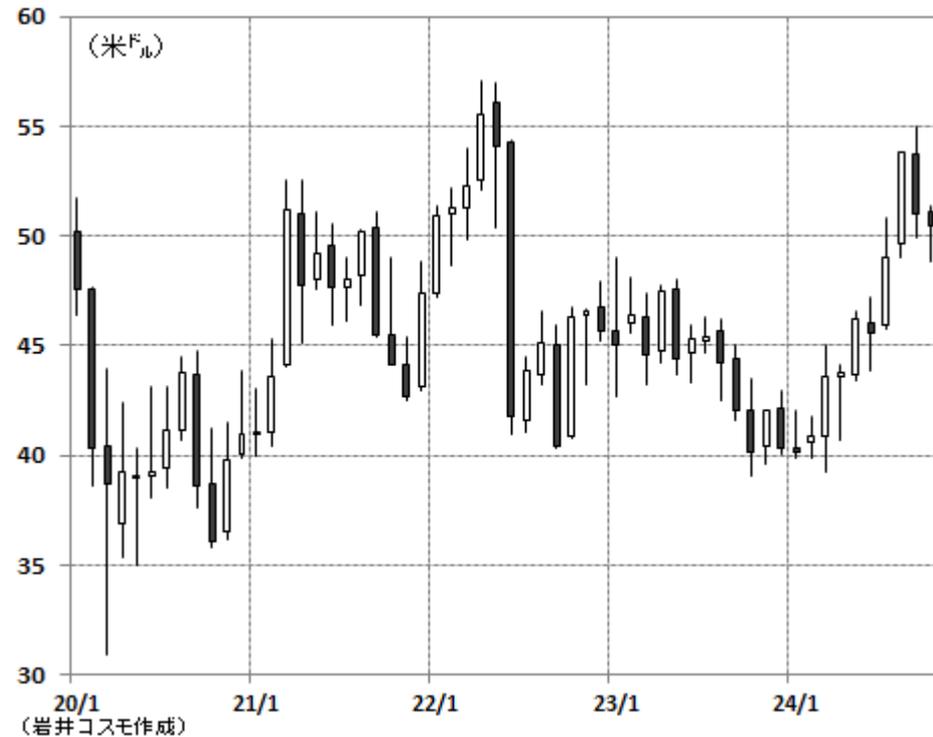
会社概要

1919年設立の米国たばこ大手、醸造会社などにも出資。2003年にフィリップモリスから現社名に変更。2007年に食品の旧クラフトフーズ、2008年に海外たばこのフィリップモリス・インターナショナルを分離。2022年に日本のJTとは加熱式たばこの合併設立(75%出資)。23年6月に電子たばこの新興企業「NJOY」を買収。本社はバージニア州リッチモンド、従業員は約6,400人(23年末時点)。

注目ポイント

□ **中期経営計画**：同社は21歳以上の米国の成人を対象にたばこを製造・販売、より害の少ないたばこ製品への移行を目指し、無煙たばこの販売数量を22年比最低35%増加させる考え。調整後1株利益や1株配当金を2028年までの年平均成長率で「1桁台半ば」を目標とし、配当性向約80%の株主還元方針を持つ。

□ **高い配当利回り**：健康志向を背景にした紙巻たばこの販売数量の減少を値上げで補っている事、健康被害・受動喫煙問題等で複数の訴訟を抱える事、ESG投資家の忌避等から株価収益率が低く、相対的な配当利回りが高い。配当利回りの高い銘柄は、一般的に債券代替投資の対象として金利低下で魅力を高める特徴がある。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	50.5 (10/30)
52週高値(日付)	54.95 (24/09/05)
52週安値(日付)	39.26 (24/03/04)
時価総額	862億ドル 13兆2,193億円
株価変化率(%)	15.3 (過去6ヶ月間) 25.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	13.7 (倍)
株価売上高比率	4.4 (倍)
PBR	— (倍)
税前提当利回り(%)	8.08 (直近年率)
配当成長率(%)	4.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	0.47 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	25,096	-4	11,919	3	5,764	133	3.19	3.68
2023/12	24,483	-2	11,547	-3	8,130	41	4.57	3.84

四半期業績

2023/Q2	6,508	—	2,905	—	2,117	—	1.19	0.94
2024/Q2	6,209	-5	2,533	-13	3,803	80	2.21	0.98

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

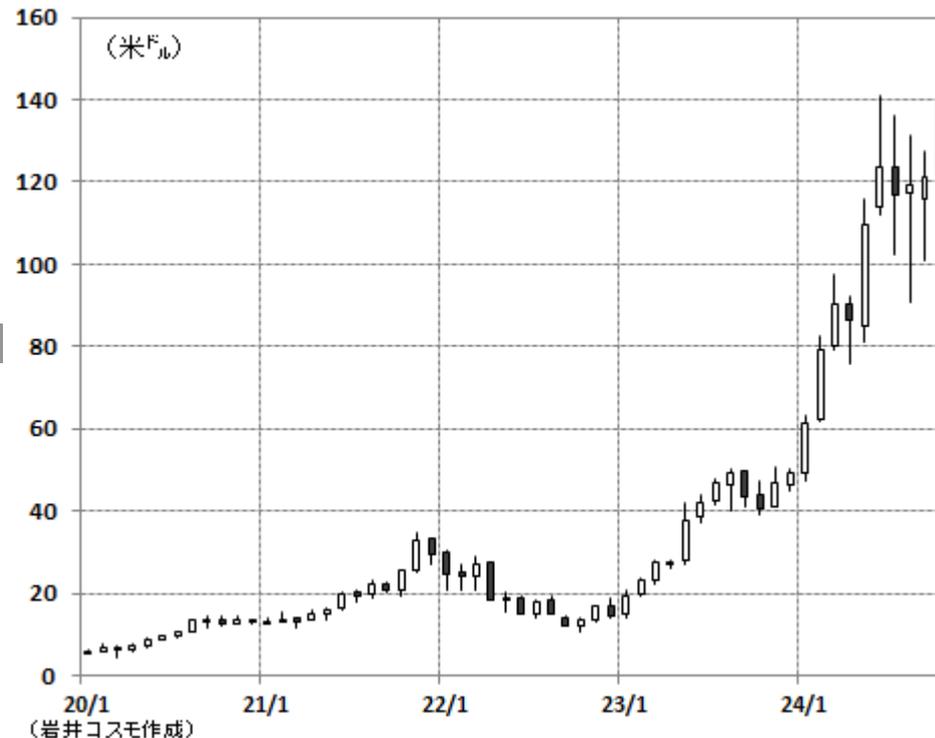
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権を握る**: 人工知能の計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発。創薬支援等多くの企業と提携、AIで主導権を握りつつある。

□ **次世代GPU、11-1月期収益貢献へ**: 5-7月期決算では500億ドルの追加の自社株買いを発表、次世代GPUのブラックウェルが11-1月に収益貢献の見込み。ファンCEOは10月に入り、同製品がフル生産中で、需要は常軌を逸している事、価格は3万-4万ドルになる見通しと発言。尚、GPU製品の投入計画は2027年まで明らかにされている。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	139.335 (10/30)
52週高値(日付)	144.41 (24/10/22)
52週安値(日付)	39.235 (23/10/31)
時価総額	3兆4,179億ドル 524兆3723億円
株価変化率(%)	61.3 (過去6ヶ月間) 241.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	65.3 (倍)
株価売上高比率	35.6 (倍)
PBR	58.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	75.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	123.8 (%)
株式ベータ	1.85 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	0.17	0.02
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	1.19	0.02

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q2	13,507	—	6,800	—	6,188	—	0.25	0.00
2025/Q2	30,040	122	18,642	2.7倍	16,599	2.7倍	0.67	0.01

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

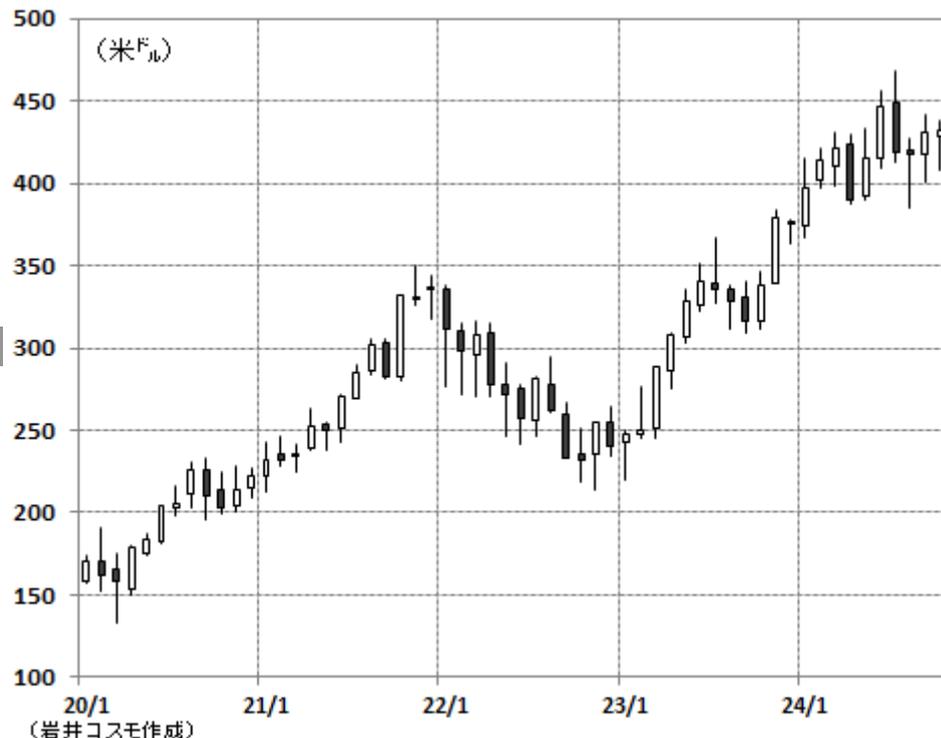
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年秋から「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスを開始。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。7-9月期の「アジュール・他クラウドサービス」の伸びは、3割超を維持。10-12月期にAIビジネスの年換算収入は100億ドルを超える見込みとし、今25年6月通期も2桁台の増収・営業増益を見込んでいる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	432.53 (10/30)
52週高値(日付)	468.33 (24/07/05)
52週安値(日付)	334.69 (23/10/31)
時価総額	3兆2,158億ドル 493兆3694億円
株価変化率(%)	11.1 (過去6ヶ月間) 27.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	35.6 (倍)
株価売上高比率	12.6 (倍)
PBR	11.2 (倍)
税前列当利回り(%)	0.77 (直近年率)
配当成長率(%)	10.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.6 (%)
株式ベータ	1.10 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q1	56,517	—	26,895	—	22,291	—	2.99	0.68
2025/Q1	65,585	16	30,552	14	24,667	11	3.30	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□アイパッドとサービス収入で堅調業績: 4-6月期は前年同期比5%増収、8%最終増益。アイフォン販売の小幅減収を新型アイパッド販売や音楽・映像・データ保管等のサービスの伸びで補った。7-9月期の増収率見通しは同5%程度(市場予想4%)。9月20日に発売開始のアイフォン16は新型チップセットA18を搭載、本体側面にカメラ操作ボタンを追加、販売価格(米国)は799ドルから、初回の出荷動向に注目。

□アップル版生成AI(英語版)開始: 独自のAI「アップル・インテリジェンス(英語のみ)」は10月に文書要約等の一部サービスがスタートした。オープンAIのChat GPTと統合や音声AIのSiriの機能進化、画像生成AI、カスタム絵文字などの重要機能は12月以降に提供開始の予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	230.1 (10/30)
52週高値(日付)	237.49 (24/10/15)
52週安値(日付)	164.08 (24/04/19)
時価総額	3兆4,985億ドル 536兆7356億円
株価変化率(%)	35.1 (過去6ヶ月間) 34.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	35.0 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	52.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.43 (直近年率)
配当成長率(%)	4.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	160.6 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	81,797	—	22,998	—	19,881	—	1.26	0.240
2024/Q3	85,777	5	25,352	10	21,448	8	1.40	0.250

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

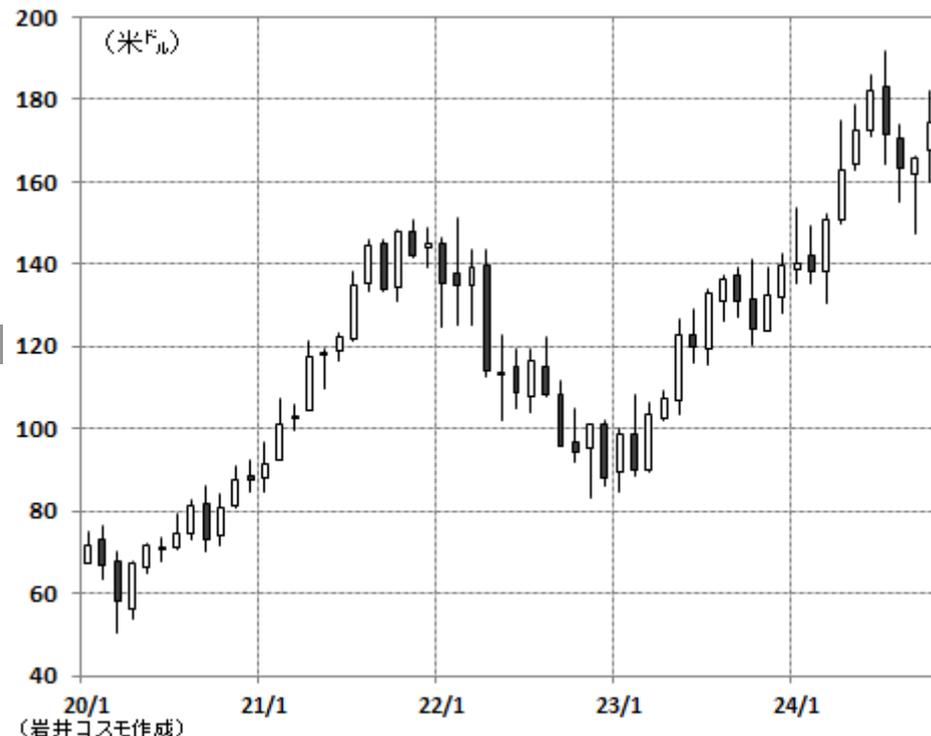
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は181,269人(24年9月末)。

注目ポイント

□ **生成AI製品効果でクラウド事業が急成長**：7-9月期決算は4四半期連続で広告収入が2桁成長を達成、売上・利益は市場予想を上振れ着地。生成AI製品や各種ビジネスソフトが収益貢献したクラウド事業は売上・利益の成長が加速した。新型スマホ「ピクセル9」は機器販売の伸長に寄与。ほか米国の複数都市で商業運転を行う自動運転車事業のウェイモのロボタクシーの有料乗車は、週15万回に達している等とした。

□ **AI開発速度を早める考え**：今年後半に入り、生成AI「ジェミニ」の開発チームを「ティープoint」に集約、点在するオフィスを最適化した。組織を簡素化し、開発速度を速める考え。AI利用は社内でも進みCEOは「社内のプログラムのコード作成の4分1を現在AIが担っている。」と発言した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	174.46 (10/30)
52週高値(日付)	191.75 (24/07/10)
52週安値(日付)	122.69 (23/10/31)
時価総額	2兆1,456億ドル 329兆1761億円
株価変化率(%)	7.2 (過去6ヶ月間) 40.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	22.6 (倍)
株価売上高比率	6.4 (倍)
PBR	6.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.46 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.1 (%)
株式ベータ	1.19 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	76,693	—	21,343	—	19,689	—	1.55	0.00
2024/Q3	88,268	15	28,521	34	26,301	34	2.12	0.20

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

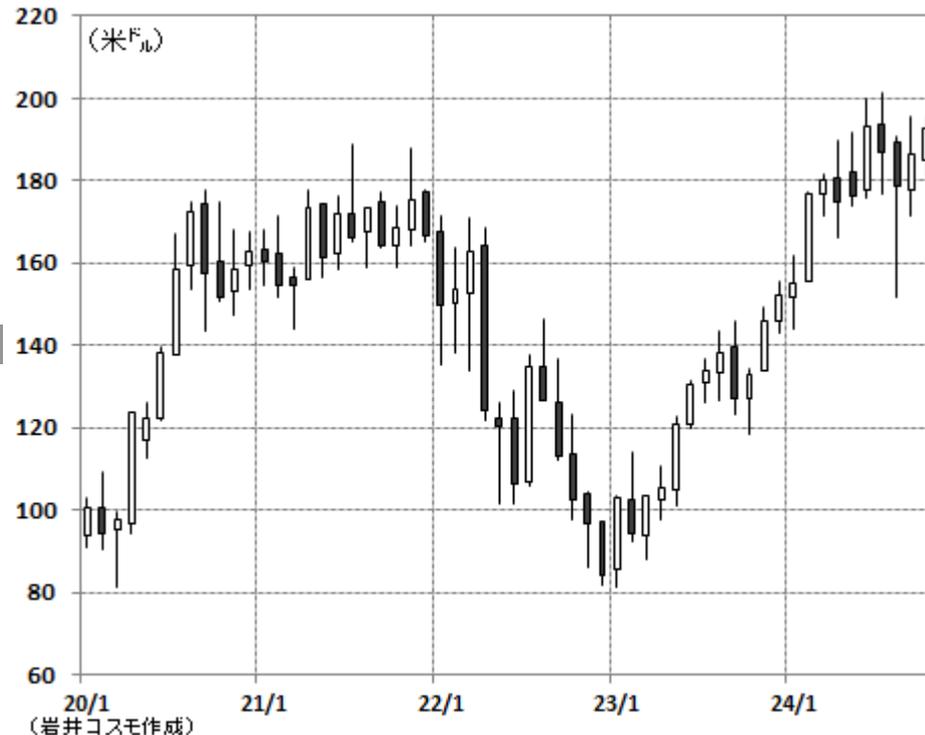
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「Kindleファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

AWS加速・ネット通販も収益性改善: 4-6月決算は前年同期比2倍の最終増益の着地。経費抑制効果が一巡する中、企業の成長AI利用拡大も追い風にAWS(クラウド)事業の売上成長・再加速と高い利益率を維持が貢献。小売事業は売上がやや低調も配送効率の改善、海外事業を黒字化させた。AWSは生成AIとAI以外もデータ処理量で強い需要が見られたとし、下期は設備投資額を増やす予定。

格安ネット通販業者の対抗策準備: アマゾンは中国のティーム、シーイン等の格安通販サイトに対抗し、広東省の施設から米国の顧客に直接商品を発送する計画で、出品者に安く配送・決済できる仕組みを準備中と10月に複数のメディアで報じられた。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	192.73 (10/30)
52週高値(日付)	201.2 (24/07/08)
52週安値(日付)	131.72 (23/10/31)
時価総額	2兆0,228億ドル 310兆3396億円
株価変化率(%)	10.1 (過去6ヶ月間) 44.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	45.2 (倍)
株価売上高比率	3.3 (倍)
PBR	8.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.9 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
四半期業績								
2023/Q2	134,383	—	7,681	—	6,750	—	0.65	0.00
2024/Q2	147,977	10	14,672	91.0倍	13,485	100	1.26	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々30億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

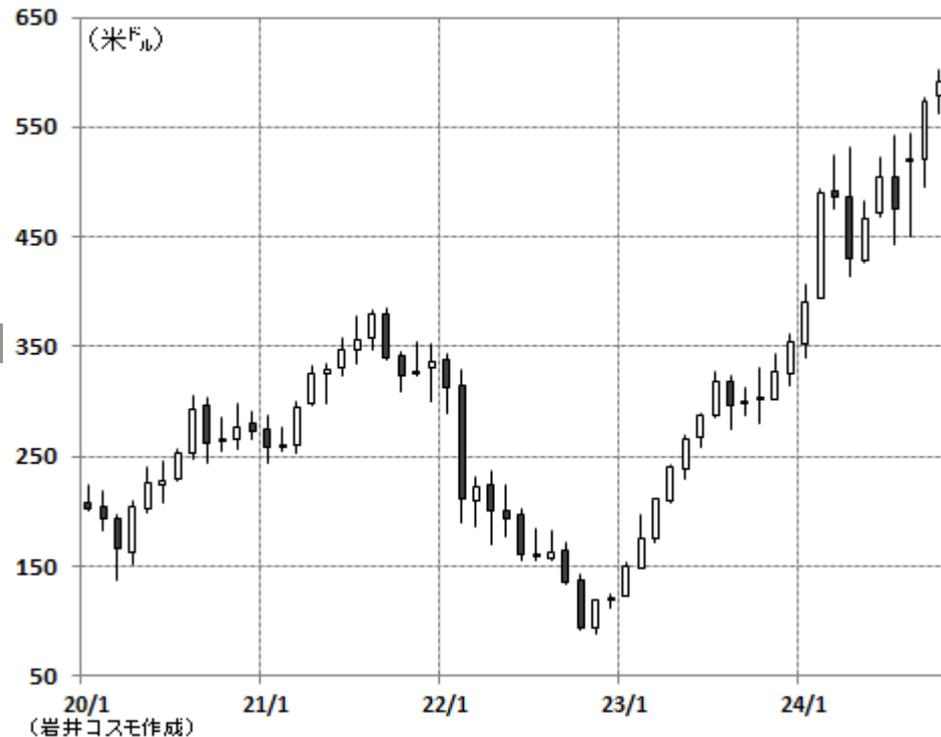
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラムなども含む)は全世界で32.9億人(24年7-9月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約72,404人(24年9月末時点)。

注目ポイント

□ 広告収入の好調維持: 7-9月期の前年同期比・増収率は+19%と好調維持。短編動画広告やワッツアップのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。大規模言語モデル技術をSNSコンテンツの推奨機能に活用して視聴時間の増加に結び付けているとした。

□ AIアシスタントが世界展開: 米国で提供中のAIアシスタント「メタAI」は月間利用者数が4億人に達し、最新版は音声対話や画像対応が強化され、料理の写真をAIに送信して調理法を聞けるまで進化。10月には英国、ブラジル、インドネシア、タイ、ベトナム等を含む21カ国で展開されると発表、最終的に43カ国・12言語まで拡大する見通し。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	591.8 (10/30)
52週高値(日付)	602.9 (24/10/07)
52週安値(日付)	296.86 (23/10/31)
時価総額	14,973億ドル 229兆7197億円
株価変化率(%)	37.6 (過去6ヶ月間) 96.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.8 (倍)
株価売上高比率	9.6 (倍)
PBR	9.1 (倍)
税前提当利回り(%)	0.34 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.1 (%)
株式ベータ	1.38 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	34,146	—	13,748	—	11,583	—	4.39	0.00
2024/Q3	40,589	19	17,350	26	15,688	35	6.03	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

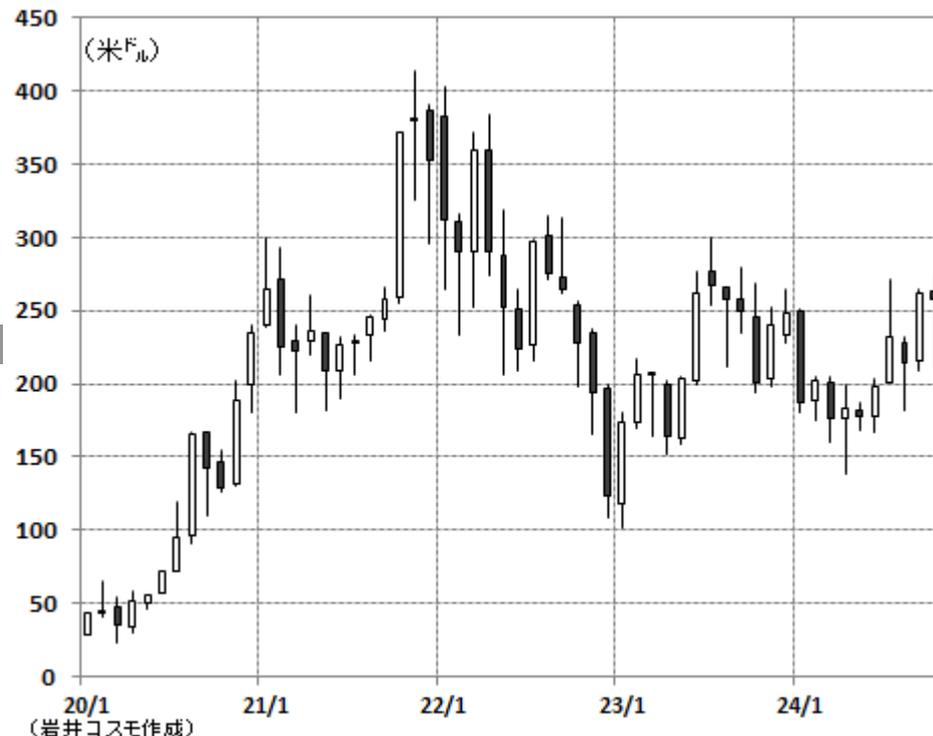
会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **納車台数見通しを上方修正**: 7-9月期はEVの原価低減で粗利益が改善し、大幅営業増益。EV生産は47万台と4-6月の41万台から回復、今期納車台数の伸び率を前年比大幅減から若干増加に上方修正した。25年上期投入の「次世代低価格車」は順調とし、マスク氏は来期納車台数は概算で前年比20~30%増を見込むとした。

□ **25年ロボタクシー開始を計画**: 10月10日に完全自律走行車「サイバークャブ」と大人数用「ロボバン」を発表。「サイバークャブ」は26年の量産体制に入る考えを示す。25年にカリフォルニア州とテキサス州で一般向けに自律走行型の配車サービス開始を計画する。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	257.55 (10/30)
52週高値(日付)	273.52 (24/10/28)
52週安値(日付)	138.82 (24/04/22)
時価総額	8,268億ドル 126兆8401億円
株価変化率(%)	40.5 (過去6ヶ月間) 28.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	122.3 (倍)
株価売上高比率	8.5 (倍)
PBR	11.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.6 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	23,350	—	1,764	—	1,853	—	0.53	0.00
2024/Q3	25,182	8	2,717	54	2,167	17	0.62	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症薬に脚光

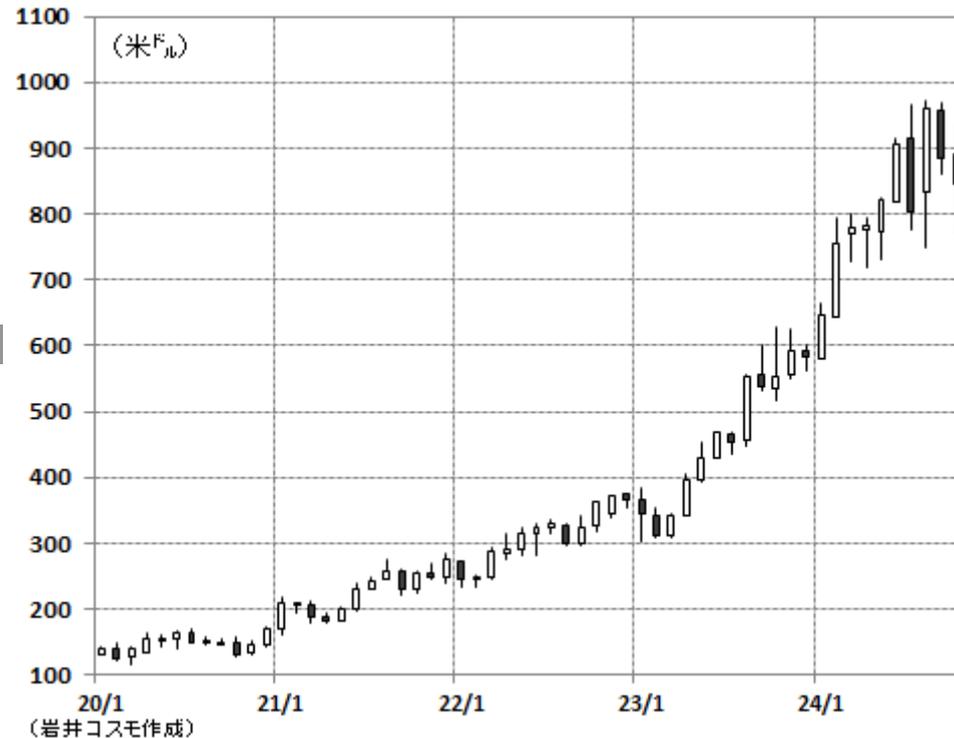
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリヴェイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で脚光**: 2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「セブパウンド」が業績のけん引役。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。肥満症治療薬では注射剤の「レタルトルド」と経口タイプの「オルフォルクリプロン」も開発中。24年7月にアルツハイマー型認知症薬「キンスラ」が米FDAの新薬承認を獲得した。

□ **不振決算も今後の拡大を見通す**: 7-9月決算は卸売業者の在庫管理上の混乱の影響で「マンジャロ」、「セブパウンド」販売が一時的に伸び悩み、不振決算となったが、需要の減退ではないとした。販促活動も奏功し10-12月期は盛り返し、来期の加速を見込むとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	846.83 (10/30)
52週高値(日付)	972.24 (24/08/27)
52週安値(日付)	547.95 (23/10/31)
時価総額	8,039億ドル 123兆3357億円
株価変化率(%)	8.4 (過去6ヶ月間) 52.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	64.5 (倍)
株価売上高比率	18.7 (倍)
PBR	59.3 (倍)
税引前配当利回り(%)	0.61 (直近年率)
配当成長率(%)	15.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	59.6 (%)
株式ベータ	0.66 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52

四半期業績							
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益
2023/Q3	9,499	—	427	—	-57	—	-0.06
2024/Q3	11,439	20	1,588	3.7倍	970	黒転	1.07

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。24年3月に新型「ダ・ビンチ5」の医療機器認証を獲得

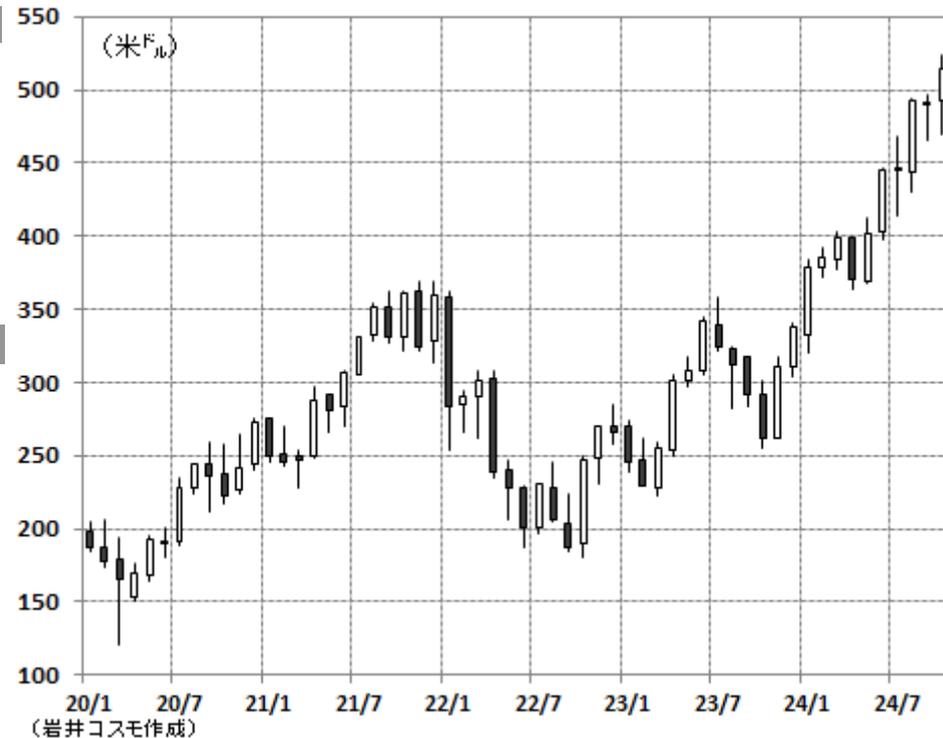
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供するのが特徴。24年6月末の稼動状況は、全世界で9,203台。23年度の全世界の手術件数実績は約229万件。日本の病院でも同社ロボット手術が普及、約600台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。24年3月に「ダ・ビンチ5」のFDA認証を獲得。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **大幅増収増益決算が続く**: 7-9月期は前年同期比17%増収・24%営業増益。手術件数の伸びはヘルニア修復等の一般外科手術中心に同18%増を記録。新型「ダ・ビンチ5」を110台出荷したが、増産体制が整備され25年半ばに出荷が本格化される予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	513.77 (10/30)
52週高値(日付)	523.18 (24/10/18)
52週安値(日付)	260.32 (23/10/31)
時価総額	1,830億ドル 28兆0,750億円
株価変化率(%)	38.6 (過去6ヶ月間) 95.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	82.2 (倍)
株価売上高比率	23.1 (倍)
PBR	11.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.0 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	6,222	9	1,577	-13	1,322	-22	3.65	0.00
2023/12	7,124	14	1,767	12	1,798	36	5.03	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	1,744	—	466	—	416	—	1.16	0.00
2024/Q3	2,038	17	577	24	565	36	1.56	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトバンク傘下の半導体設計技術会社、スマホ以外の市場でシェア拡大

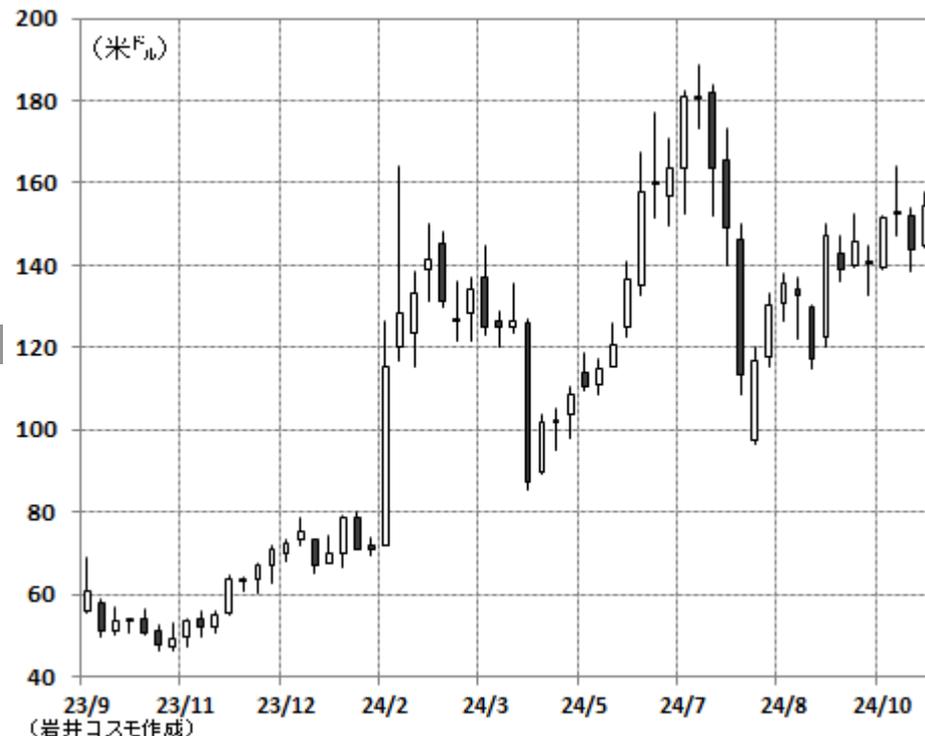
会社概要

ソフトバンク傘下の英半導体設計大手で半導体製造は行わず、低消費電力型プロセッサ-の設計技術を世界中の半導体メ-カ-等にライセンス提供。パソコン、スマホ、データセンター、自動車、ネットワーク機器などの様々な半導体に同社設計の回路が使用されている。主要顧客はアップル、アマゾン、エヌビディア等。創業は1990年、2016年にソフトバンクGが同社を買収(現在9割保有)、2023年9月にナスダック市場に再上場した。

注目ポイント

□**省電力半導体設計に強み**: プロセッサ-の電力効率の高さが強みで自動車やサーバ-/クラウド/IoT向けでも採用が拡大。22年の市場シェアはスマホ向けCPUで99%とほぼ独占、クラウドデータ向けでも20年の7.2%から10.1%へ上昇、特にエヌビディア製CPUやアマゾンやマイクロソフト、アルファベットの自社製半導体でもア-ムの技術が活用され、今後の成長に寄与する見込み。

□**最新の設計仕様ほど使用料高く**: AI(人工知能)の演算処理など高性能化に伴い、ア-ムが定めた1個の半導体製造に係る設計仕様(アーキテクチャ-)の利用料も上昇。今期・増収率を+18~27%とし、また来26・翌27年度の2割増収が可能との見方を5月に示した。



株価チャート(上場来・週足)

株価データ	
株価(米ドル)	154.4 (10/30)
52週高値(日付)	188.74 (24/07/09)
52週安値(日付)	47.15 (23/10/31)
時価総額	1,618億ドル 24兆8,251億円
株価変化率(%)	52.6 (過去6ヶ月間) 213.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	372.9 (倍)
株価売上高比率	45.6 (倍)
PBR	28.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/03	2,679	-1	671	6	524	-5	0.51	0.00
2024/03	3,233	21	111	-83	306	-42	0.29	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q1	675	—	111	—	105	—	0.10	0.00
2025/Q1	939	39	182	64	223	112	0.21	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

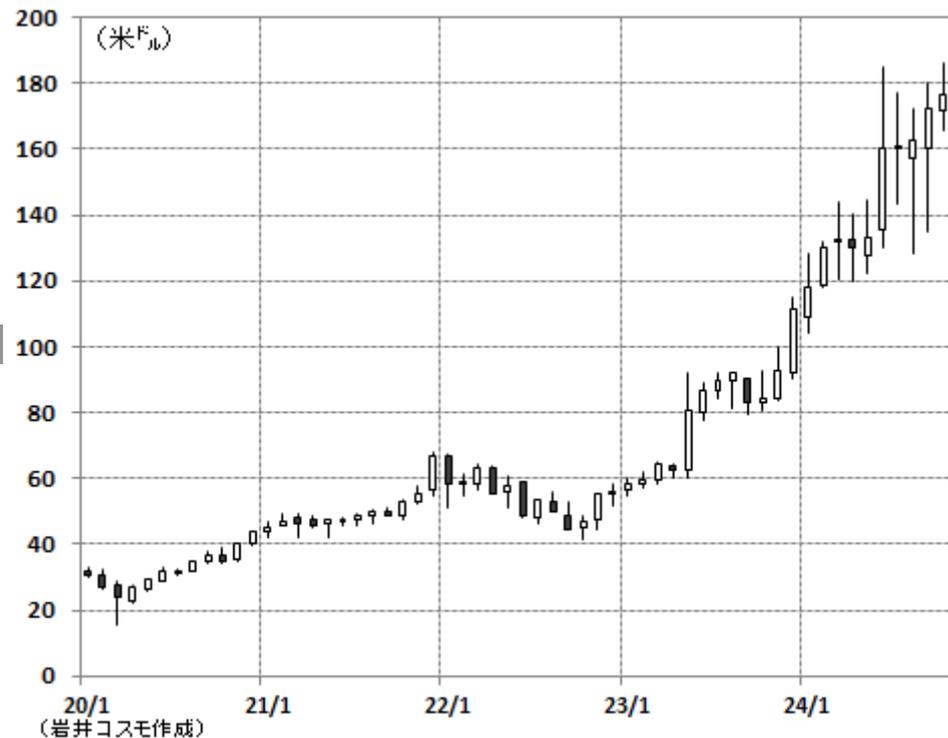
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□ **カスタム半導体等のAI半導体を供給**: 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□ **AI半導体需要の強さを確認**: データセンター投資の活発化を背景に第3四半期ではAI半導体売上の好調を確認、カスタムAIアクセラレータが前年同期比3.5倍、高速イーサネットスイッチ向けが同4倍以上、光通信用向けが同3倍の売れ行きだった。今年度のAI半導体の売上高見込みは120億ドルと、従来比10億ドル増額修正された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	176.64 (10/30)
52週高値(日付)	186.42 (24/10/09)
52週安値(日付)	83.26 (23/10/31)
時価総額	8,250億ドル 1,26兆5,731億円
株価変化率(%)	35.8 (過去6ヶ月間) 109.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	69.5 (倍)
株価売上高比率	17.0 (倍)
PBR	12.6 (倍)
税前配当利回り(%)	1.20 (直近年率)
配当成長率(%)	14.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.6 (%)
株式ベータ	1.72 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	33,203	21	14,225	67	11,223	74	2.65	1.640
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30	1.840

四半期業績

2023/Q3	8,876	—	3,856	—	3,303	—	0.77	0.460
2024/Q3	13,072	47	3,788	-2	-1,875	赤転	-0.40	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

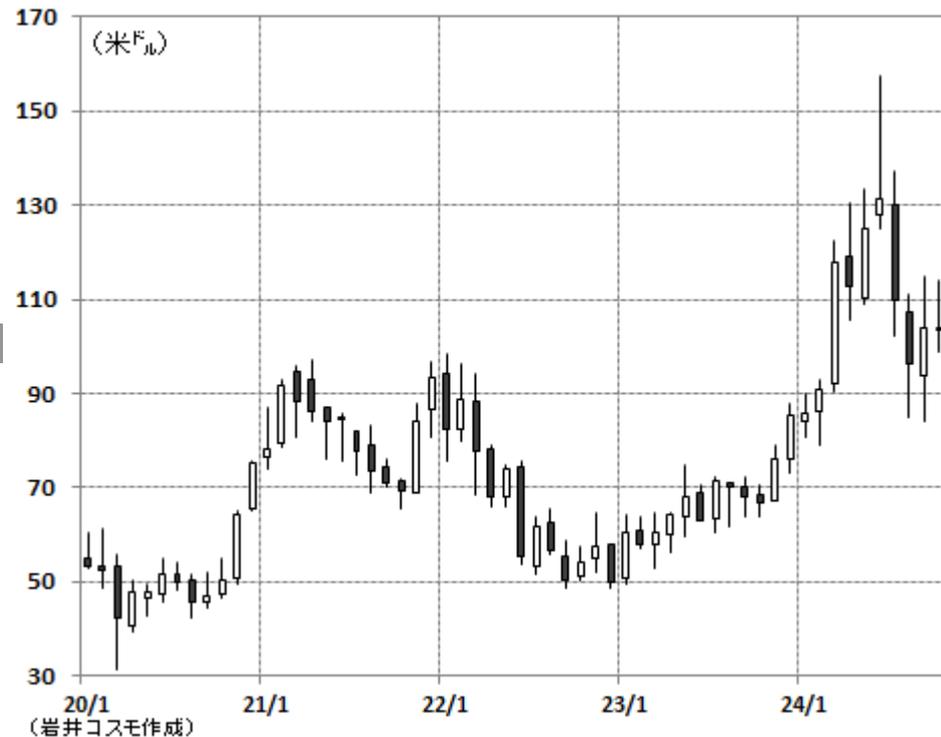
会社概要

1978年設立の半導体メモリ製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリ、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(24年度)はDRAMが70%、NANDフラッシュ29%、その他1%。DRAMは省電力型の半導体メモリ。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

□ **超高速メモリを量産開始、エヌビディアに納入**：2月に超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリ)の量産化を開始、エヌビディアのAI用GPUと共に使用され、24年・25年分の製造分の売却先が決まり、需給逼迫から価格を引き上げ、長期の保証付き契約を確保している。

□ **収益大幅改善**：メモリ市況はコロナ特需の反動から需給バランスが崩れ価格低迷したが生産調整の後、23年後半に価格が回復。24年8月期はHBMの生産も寄与し最終黒字に転じた。25年8月期はHBMの数十億の売上を含む、大幅増収と収益改善を想定。PCやスマホのAI機能搭載がメモリ需要を喚起し、追い風との見方を示した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	104.08 (10/30)
52週高値(日付)	157.52 (24/06/18)
52週安値(日付)	65.29 (23/10/31)
時価総額	1,154億 ^{ドル} 17兆7,044億円
株価変化率(%)	-7.9 (過去6ヶ月間) 55.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	214.9 (倍)
株価売上高比率	4.6 (倍)
PBR	2.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.44 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	1.7 (%)
株式ベータ	1.66 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460
2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460

四半期業績							
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益
2023/Q4	4,010	—	-1,472	—	-1,430	—	-1.31
2024/Q4	7,750	93	1,522	黒転	887	黒転	0.79

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体前工程のエッチング装置の世界大手、超高速DRAM(HBM)関連投資で恩恵

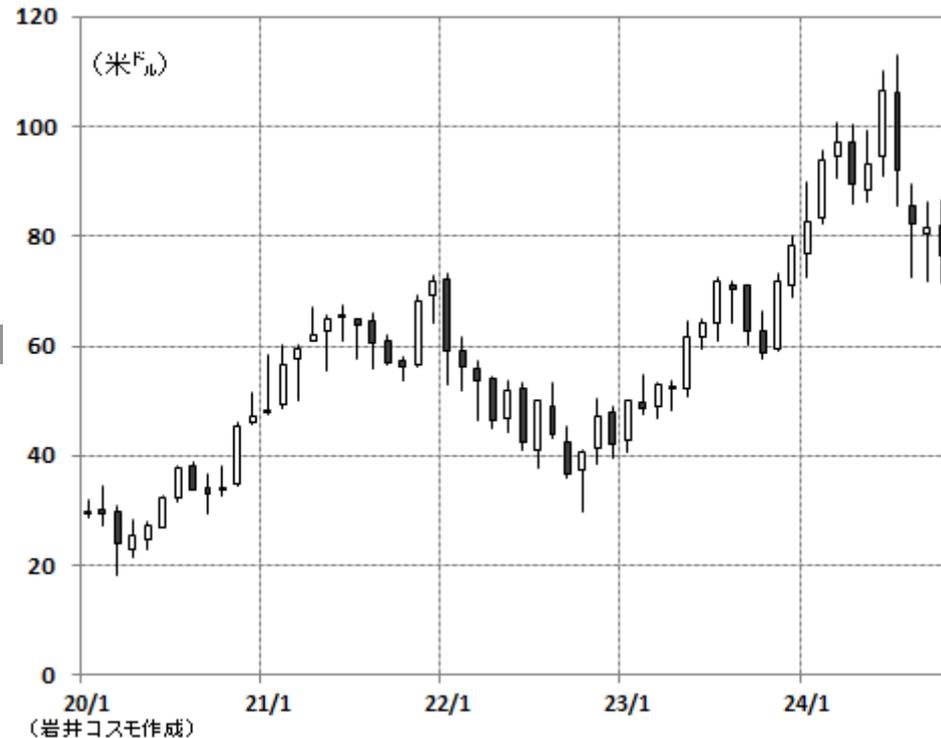
会社概要

半導体製造装置大手。半導体製造の前工程の精密な凹凸を形成するエッチング装置で世界トップシェアを誇る。ほか成膜やウェハ-洗浄等の機器も手掛ける。同社製ウェハ-加工装置を使い半導体メーカーは、より小型、高速かつ高性能な電子デバイスを作れる。競合にアプライト・マテリアルズ、東京エレクトロン等。1980年設立、本社はカリフォルニア州・フーントン、従業員数は約17,700人(24年9月時点)。

注目ポイント

□ **半導体構造の複雑化が需要拡大要因**: AI半導体など高性能なロジック系半導体は構造が複雑化し、各製造工程において不純物を完全に除去することが必須、同社の高性能・高品質の製品需要の増加要因となっている。またマイクロンやSKハイニックス等の半導体メモリ大手は広帯域メモリ-(HBM)の量産化を進め、同社製の電解めっきやエッチング、先端パッケージング等の各種装置の活躍が期待される。

□ **堅調決算で懸念後退**: 7-9月業績は20%増収・24%営業増益、10-12月期見通しを含め市場予想を上振れ。中国向け出荷の今後の減少を想定するも、業界予測の24年半導体前工程支出を900億ドル台半ばで据え置き、25年は更に増加との見方を示した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	76.45 (10/30)
52週高値(日付)	113 (24/07/11)
52週安値(日付)	57.6 (23/10/31)
時価総額	984億ドル 15兆0.915億円
株価変化率(%)	-14.5 (過去6ヶ月間) 30.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	24.0 (倍)
株価売上高比率	6.4 (倍)
PBR	11.7 (倍)
税前配当利回り(%)	1.20 (直近年率)
配当成長率(%)	15.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	49.1 (%)
株式ベータ	1.67 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	17,429	1	5,175	-4	4,511	-2	3.32	0.69
2024/06	14,905	-14	4,264	-18	3,828	-15	2.90	0.80

四半期業績

2024/Q1	3,482	—	1,023	—	887	—	0.67	0.20
2025/Q1	4,168	20	1,264	24	1,116	26	0.86	0.23

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ **ハイブリッドクラウドとAIを強化**: 2019年にオープンソース大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、自社運用とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」とAI等の分野に経営資源のシフトを図った。日本の次世代半導体量産化を目指す、レガダスにはIBMが半導体の技術供与している。

□ **生成AIの受注増加**: 7-9月期業績は売上高の3分1を占めるコンサル部門の需要鈍化が足かせとなった一方、生成AIの受注残が30億ドル超と前四半期比10億ドル超増加した。同社はクラウドインフラを管理するソフトウェアを手掛けるハシコブの年内取得を予定、これにより包括的なクラウドサービスを提供したい考え。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	204.9 (10/30)
52週高値(日付)	237.31 (24/10/15)
52週安値(日付)	142.62 (23/10/31)
時価総額	1,895億ドル 29兆0,669億円
株価変化率(%)	23.3 (過去6ヶ月間) 41.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	22.0 (倍)
株価売上高比率	3.0 (倍)
PBR	7.7 (倍)
税前配当利回り(%)	3.26 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.9 (%)
株式ベータ	0.74 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63
四半期業績								
2023/Q3	14,752	—	1,873	—	1,704	—	1.84	1.66
2024/Q3	14,968	1	-802	赤転	-330	赤転	-0.36	1.67

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

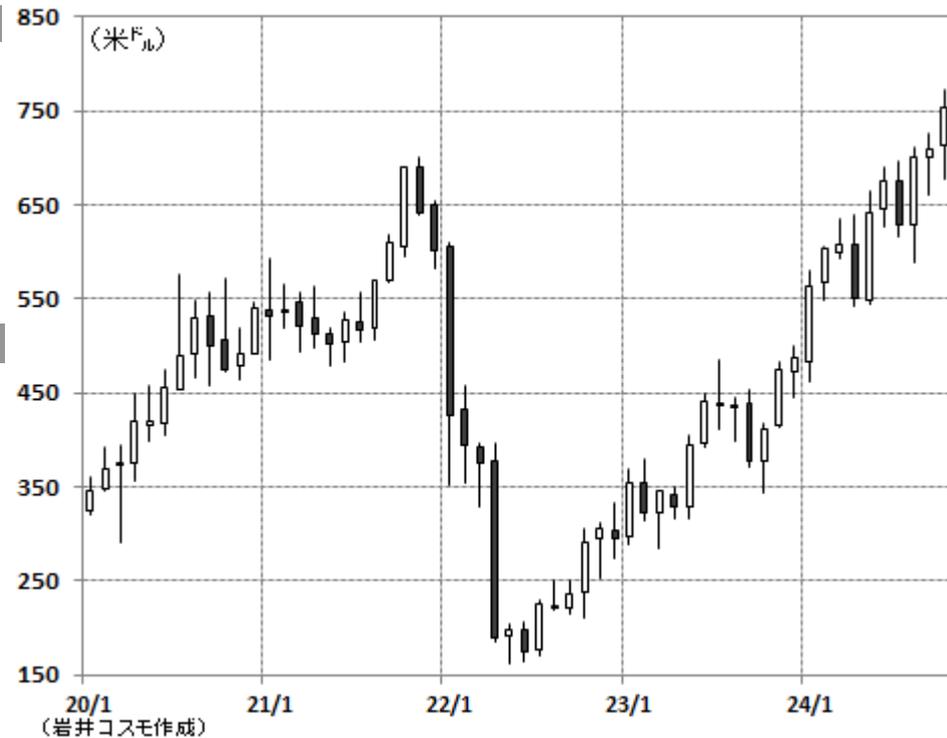
会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年9月末時点の会員数は全世界で約2.83億人。

注目ポイント

□ 広告販売強化: 5月半ばに広告付き格安プランの会員数が4,000万人に達したことを公表、7-9月期は同会員数が前年同期比35%伸びた。同社は広告配信の提携先にマイクロソフトを選択したが、今後トレードデスクやグーグルも加わる。25年末までに自社開発した広告配信技術を実装し広告主に直接、宣伝効果の測定を提供する予定で25年通期では広告収入が倍増する見通しを示した。

□ イカゲーム続編等コンテンツ充実: 世界的ヒットとなった「イカゲーム」の新シーズンは12月26日より配信開始を予定するなど、オリジナルコンテンツは充実。25年からは米国の人気プロレス番組「RAW」の独占放映権を獲得、ライブイベントやゲームなどのコンテンツも強化する計画。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	753.74 (10/30)
52週高値(日付)	772.88 (24/10/21)
52週安値(日付)	404.71 (23/10/31)
時価総額	3,222億ドル 49兆4,307億円
株価変化率(%)	36.9 (過去6ヶ月間) 83.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	41.9 (倍)
株価売上高比率	8.7 (倍)
PBR	14.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.7 (%)
株式ベータ	1.28 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
四半期業績								
2023/Q3	8,542	—	1,916	—	1,677	—	3.73	0.00
2024/Q3	9,825	15	2,909	52	2,364	41	5.40	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

配当による株主還元重視する米携帯電話加入件数首位の通信大手

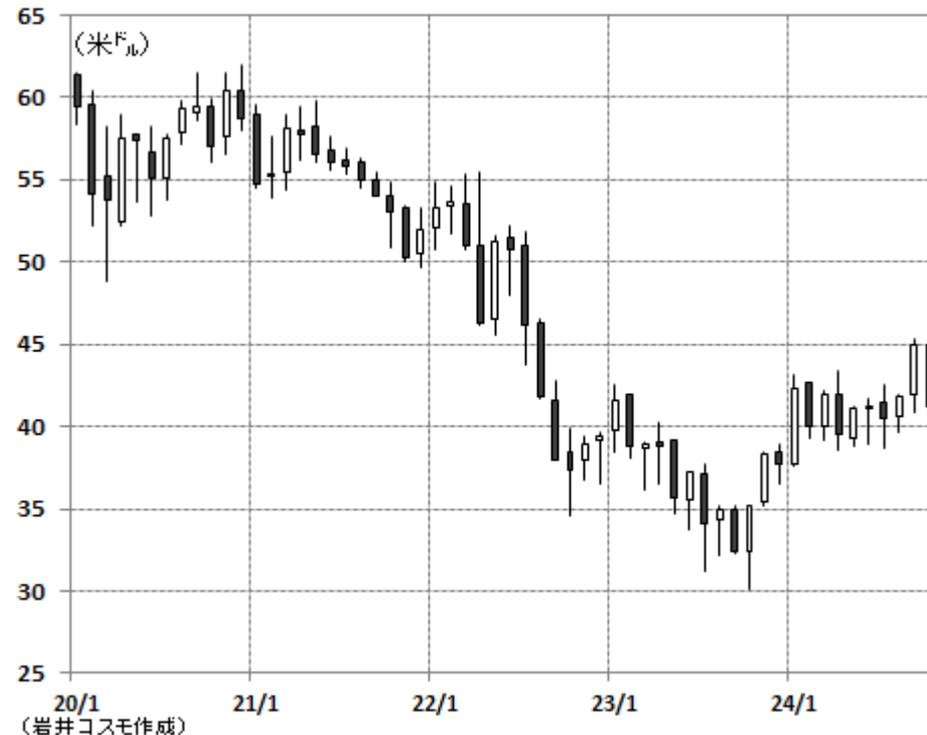
会社概要

固定・携帯通信双方を手掛け、消費者とビジネス向けにサービスを展開。同社は携帯加入者数首位で、TモバイルUS、AT&Tと並ぶ通信3強を形成。24年6月末の携帯端末(後払い方式)の契約件数は1.24億件。固定通信事業では消費者向けに音声通話・ネット回線等を法人向けにはデータセンター等も提供。本社はニューヨーク、社員数は約103,900名(24年6月末)。NYダウ工業株30種平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **サブスクリプションプランが奏功**: 23年より携帯電話向け新料金体系「マイプラン」を開始、オプション別の3種類の5G通信パケット無線通信プランからなり、月額プラス10ドルでアップルやディズニー+等の各社のサブスクリプションを利用でき、家族内でも個人単位で選択できる。好評につきインターネットのブロードバンド通信でも同様のサービスを24年に開始した。

□ **業界最長の増配を発表**: 9月4日に連続増配で米通信業界最長となる18年連続増配を発表、24年の設備投資額は前期比約1割減の170億~175億ドルの見込みと、配当の原資となるフリーキャッシュフローは創出しやすい。同社は配当による株主還元を重視している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	41.28 (10/30)
52週高値(日付)	45.36 (24/09/30)
52週安値(日付)	34.67 (23/10/31)
時価総額	1,738億ドル 26兆6,603億円
株価変化率(%)	4.5 (過去6ヶ月間) 17.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	9.3 (倍)
株価売上高比率	1.3 (倍)
PBR	1.8 (倍)
税前提当利回り(%)	6.56 (直近年率)
配当成長率(%)	1.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.1 (%)
株式ベータ	0.67 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	136,835	2	30,467	-6	21,256	-4	5.06	2.5850
2023/12	133,974	-2	22,877	-25	11,614	-45	2.75	2.6350

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	33,336	—	7,473	—	4,762	—	1.13	0.6650
2024/Q3	33,330	-0	5,926	-21	3,306	-31	0.78	0.6775

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米製薬大手、新型コロナ関連依存から脱却、がん・心臓病薬等が好調

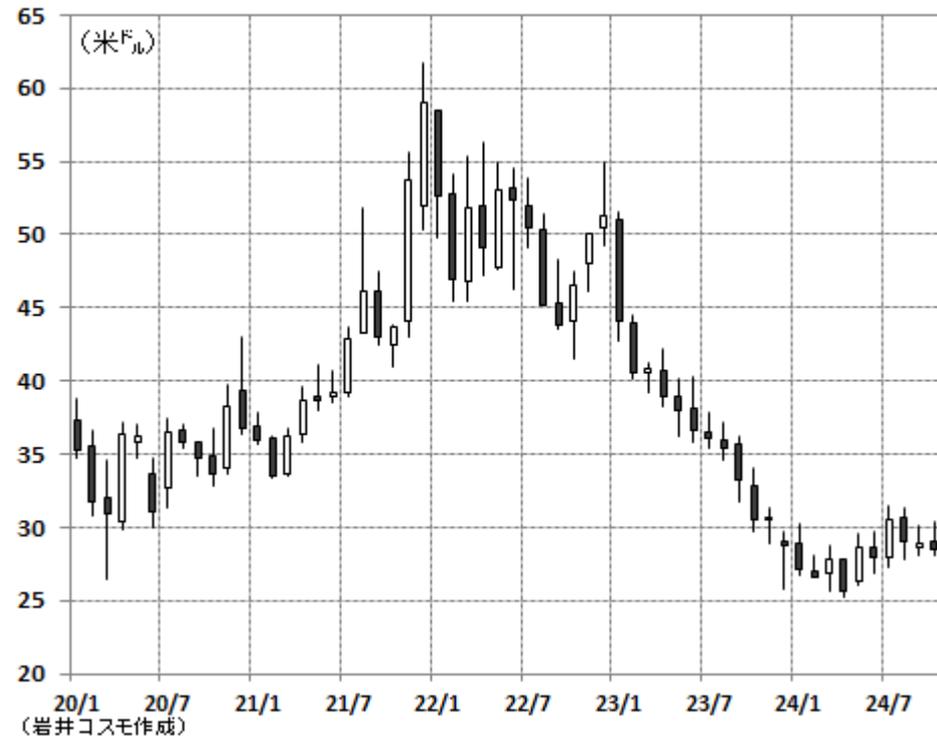
会社概要

販売力に定評のある米製薬大手。近年は新型コロナのワクチン、抗ウイルス薬で存在感を示す。M&A戦略や新興国展開、利益改善に向けた社内構造改革を実行し、2019年に消費者向けヘルケア部門を非連結化、20年に特許切れ部門を分離し、新薬開発・販売に傾斜。23年12月には米シ-ジェン社を買収、がん分野を強化した。本社は、ニューヨーク、社員数は約88,000名(23年末時点)。

注目ポイント

□**コロナ関連の売上増に加えて他の薬も伸長**：7-9月期は新型コロナのワクチン・抗ウイルス薬が大幅増収に貢献したものの、それら以外の増収率も前年同期比14%増を記録。血液の抗凝固薬「エリキュス」の成長に加えて末梢神経障害の進行を抑制する「ヒンダケル」や片頭痛治験薬の「Nurtec ODT」等が好調だった。

□**通期見通しを上方修正**：コロナ・ワクチン/ウイルス薬の想定以上の売上とシ-ジェン買収効果を理由に今期見通しを引き上げ、売上高を610億-640億ドル、調整後1株利益を2.75~2.95ドルとした。開発初期にある経口肥満症治験薬の状況報告は25年初めにある予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	28.52 (10/30)
52週高値(日付)	31.535 (24/07/30)
52週安値(日付)	25.21 (24/04/26)
時価総額	1,616億ドル 24兆7,948億円
株価変化率(%)	11.3 (過去6ヶ月間) -6.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.2 (倍)
株価売上高比率	2.7 (倍)
PBR	1.8 (倍)
税前配当利回り(%)	5.89 (直近年率)
配当成長率(%)	2.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-2.8 (%)
株式ベータ	0.50 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	100,330	23	34,729	43	31,372	43	5.47	1.61
2023/12	58,496	-42	1,058	-97	2,119	-93	0.37	1.65

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	税前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	13,491	—	-3,352	—	-2,382	—	-0.42	0.41
2024/Q3	17,702	31	4,715	黒転	4,465	黒転	0.78	0.42

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

天然ガス等のパイプライン運営企業、電力源としての天然ガス需要増に期待

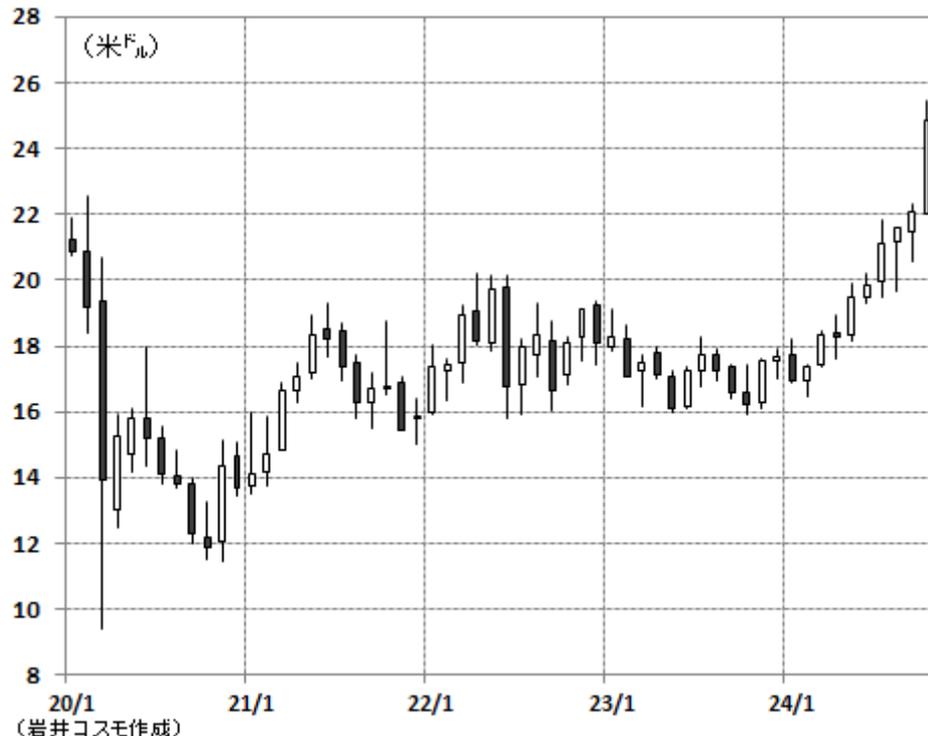
会社概要

北米最大級のエネルギー・インフラ企業。収入の約6～7割を天然ガス用パイプラインの運営から得る。他石油化学製品のパイプライン運営、貯蔵用施設の管理等、中流事業に従事。23年末時点で総延長4.4万マイル(約7万km)のパイプラインを保有。コスト抑制・安全操業・環境配慮の同時実現しながら株主価値を高め、株主還元することを標榜。本社はテキサス州ヒューストン、従業員数は10,891人(23年末時点)。

注目ポイント

□**天然ガス需要増を楽観視**: 天然ガス価格は低迷するが、会社側はAIの運用やデータセンター向けの電力源として天然ガス需要が高まっていると楽観視。天然ガス・パイプラインの需要は増加基調を辿り、2030年にかけてLNG輸出需要が現行水準から2倍に増え、メキシコ向け輸出も50%超増加すると予測。今期はテキサス州の天然ガスパイプライン「STXミッドストリーム」の買収が増収要因として寄与している。

□**トランプ氏の政策で恩恵享受**: トランプ前大統領は掘削許可プロセスを緩和、天然ガス・パイプラインの新設を奨励、化石燃料の生産量を増やすことを目指している。同社にとってトランプ氏の大統領返り咲きは、規制緩和を通じて事業拡大しやすくなることが期待される。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	24.84 (10/30)
52週高値(日付)	25.43 (24/10/17)
52週安値(日付)	16.055 (23/10/31)
時価総額	552億ドル 8兆4,666億円
株価変化率(%)	35.9 (過去6ヶ月間) 53.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.2 (倍)
株価売上高比率	3.6 (倍)
PBR	1.8 (倍)
税前配当利回り(%)	4.63 (直近年率)
配当成長率(%)	1.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.3 (%)
株式ベータ	0.66 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	19,200	16	4,065	39	2,548	43	1.12	1.11
2023/12	15,334	-20	4,263	5	2,391	-6	1.06	1.13

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	3,907	—	938	—	532	—	0.24	0.2825
2024/Q3	3,699	-5	1,015	8	625	17	0.28	0.2875

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前
交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。